

需要等の試算について

1. 自動物流道路への転換が見込まれる物流・交通量試算

- 自動物流道路を東京－大阪間に設定する場合、東京、神奈川、静岡、愛知、三重、滋賀、京都、大阪の各都府県それぞれにデポを設置する前提で試算。
- 品類別のうち、特に1件あたりの流動量が低い(小口類)の農水産品、軽工業品、雑工業品を転換対象として試算。

【デポの設定】



【各デポに荷物を出入させる対象都道府県】

大阪、奈良 和歌山、兵庫 中国、四国 九州	京都	滋賀	三重	愛知 岐阜	静岡	神奈川 山梨	北海道、東北 群馬、栃木 茨城、埼玉 千葉、東京
--------------------------------	----	----	----	----------	----	-----------	-----------------------------------

【転換対象となる貨物】

農水産品	麦、米、雑穀・豆、野菜・果物、羊毛、その他の畜産物、水産品、綿花、その他の農産品
林産品	原木、製材、薪炭、樹脂類、その他の林産品
鉱産品	石炭、鉄鉱石、その他の金属鉱、砂利・砂・石材、石灰石、原油・天然ガス、りん鉱石、原塩、その他の非金属鉱物
金属機械工業品	鉄鋼、非鉄金属、金属製品、産業機械、電気機械、自動車、自動車部品、その他の輸送機械、精密機械、その他の機械
化学工業品	セメント、生コンクリート、セメント製品、ガラス・ガラス製品、陶磁器、その他の窯業品、重油、揮発油、その他の石油、LNG・LPG、その他の石油製品、コークス、その他の石炭製品、化学薬品、化学肥料、染料・顔料・塗料、合成樹脂、動植物性油脂、その他の化学工業品
軽工業品	パルプ、紙、糸、織物、砂糖、その他の食料工業品、飲料
雑工業品	書籍・印刷物・記録物、がん具、衣服・身の回り品、文房具・運動娯楽品、家具・装備品、その他の日用品、木製品、ゴム製品、その他の製造工業品
排出物	廃自動車、廃家電、金属スクラップ、金属製容器包装廃棄物、使用済みガラスびん、その他容器包装廃棄物、古紙、廃プラスチック類、燃え殻、汚泥、鉱さい、ばいじん、その他の産業廃棄物
特殊品	動植物性飼肥料、金属製輸送用容器、その他の輸送用容器、取り寄せ品

2. 自動物流道路への転換が見込まれる物流量試算

○自動物流道路を東京－大阪間に設定する場合、全都道府県間物流量のうち東京－大阪間を通過する物流量を抽出。このうち、約26%程度(小口類である農水産品・軽工業品・雑工業品の物流量)が転換対象と想定。

(各デポ間を通過する物流量)

全物流量: 612, 572トン/日 うち小口類: 154, 372トン/日	全物流量: 593, 586トン/日 うち小口類: 145, 211トン/日	全物流量: 588, 031トン/日 うち小口類: 144, 239トン/日	全物流量: 681, 693トン/日 うち小口類: 151, 145トン/日	全物流量: 557, 411トン/日 うち小口類: 152, 631トン/日	全物流量: 566, 367トン/日 うち小口類: 151, 054トン/日	全物流量: 715, 159トン/日 うち小口類: 207, 163トン/日
---	---	---	---	---	---	---



※農水産品:麦、米、雑穀・豆、野菜・果物、羊毛、その他の畜産品、水産品、綿花、その他の農産品
 軽工業品:パルプ、紙、糸、織物、砂糖、その他の食料工業品、飲料
 雑工業品:書籍・印刷物・記録物、がん具、衣服・身の回り品、文房具・運動娯楽品、家具・装備品、その他の日用品、木製品、ゴム製品、その他の製造工業品
 ※北海道・東北～中部以西は、関東周りと想定、九州・沖縄～近畿以东は、中国周りと想定

3. 自動物流道路への転換が見込まれる交通量試算

○自動物流道路を東京－大阪間に設定する場合、普通貨物車(大型トラック等)の全都道府県間交通量のうち、東京－大阪間を通過する交通量を抽出。このうち、約2万2千台～3万台程度(小口類が約26%の場合)が転換対象と想定。

(各デポ間を通過する交通量)

全交通量: 115,122台/日 うち小口類: 29,504台/日	全交通量: 94,140台/日 うち小口類: 24,126台/日	全交通量: 85,956台/日 うち小口類: 22,029台/日	全交通量: 104,632台/日 うち小口類: 26,815台/日	全交通量: 98,484台/日 うち小口類: 25,240台/日	全交通量: 102,544台/日 うち小口類: 26,280台/日	全交通量: 209,120台/日 うち小口類: 53,594台/日
--	---	---	--	---	--	--



※農水産品:麦、米、雑穀・豆、野菜・果物、羊毛、その他の畜産品、水産品、綿花、その他の農産品

軽工業品:パルプ、紙、糸、織物、砂糖、その他の食料工業品、飲料

雑工業品:書籍・印刷物・記録物、がん具、衣服・身の回り品、文房具・運動娯楽品、家具・装備品、その他の

日用品、木製品、ゴム製品、その他の製造工業品

※北海道・東北～中部以西は、関東周りと想定、九州・沖縄～近畿以東は、中国周りと想定

出典:国土交通省「第10回全国貨物純流動調査」、「平成27年度全国道路・街路交通情勢調査」より作成